

県外派遣報告書

報告者：前田 隼大

大会名：第2回全日本社会人バスケットボール選手権大会 九州ブロック予選

期日：令和2年2月8日～9日

会場：諸富文化体育館

講義 山崎氏

- ・プレコーリングガイドラインについて
- ・3PO メカニクスについて

主に check-in、check-out、ポジションアジャスト、ローテーションについて動画を用いてレクチャーを受けた。

「メカを信じ常に探求する」

「ローテーション中の内なる声」

ポジションアジャスト→しているプライマリ ⇒スタートからフィニッシュまで
→していないプライマリ ⇒アングルのみの確保

ゲーム

2/8(土) 男子 1 回戦 STMPEDE(大分 1 位) vs Magic(宮崎 2 位)

CC:前田 U1:溝上(佐賀) U2:伊東(佐賀)

【PGC】 3PO メカニクスの確認、IOT の確認、TO 関係の確認

【ゲーム後】 L ローテーション・クローズダウンポジションの活用について
気になったケースの確認(F、UF へのアップグレード、POC 等)
インパクトプレーへのコールは行えていたが、オフェンスから求めた接触へのテンポセットを伝えきれなかった

男子 2 回戦 CHECKMATE(沖縄 1 位) vs DOGS(福岡 2 位)

CC:柿原(福岡) U1:前田 U2:東郷(宮崎)

【PGC】 3PO メカニクスの確認、両チームの前のゲームでのスカウティング

【ゲーム後】 ゾーン時のローテーションのタイミングについて
ホールディングファール時の判定、責任はどちらにあったか
L ローテーション途中の判定→C も直ぐに T へ上がらずステイ
(ポジションアジャスト)

2/9(日) 男子決勝 浦上自動車学校(長崎 2位) vs DOGS(福岡 2位)

CC:山口(長崎) U1:前田 U2:秀島(佐賀)

【PGC】 3PO メカニクス・ガイドラインの確認、両チームのスкауティング

【ゲーム後】 メカニクスの大きな崩れはなく終えられた

4Q 残り 5 分の精神状態、プライマリエリアでの判定の積み重ね

残り 12.4 処置ミス(ゲームクロックが動いてない状況でゲームを止めてしまった後の処置→タイムアウトを認めてしまった)

どちらかのチームが著しく不利な状況にならない様考慮すべき

全体を通して

今回、はじめての社会人大会の派遣をいただき、どのゲームもレベルが高く迫力がありました。その中でもフィジカルレベルの高さ、リーガル・イリーガル・マージナルの判定の部分への課題を感じました。

ベーシックなメカニクスが何の為にあるのかを再確認できた場面を随所に感じたと共にフリーディフェンスの重要性を感じました。

最終ゲームの終盤に CC 頼みになり、笛が鳴らない時間帯があり強いメンタルを発揮するためにどうしていきべきか、非常に危機感を感じました。また、ゲームコントロールの中でプレイヤー・ベンチとのコミュニケーションの取り方やプレゼンテーションをよりはっきりわかりやすいものにできるよう日々取り組む習慣付けが必須です。

最後に、様々な場面でお世話になった佐賀県バスケットボール協会の皆様、原田審判長はじめ鹿児島県バスケットボール協会の皆様へ御礼申し上げます。ありがとうございました。